

# 校長室より

暗唱だより  
令和7年10月  
第三吾嬬小学校長  
川中子 登志雄



## 実いの秋となりました

黒田三郎(くろださぶろう)

昔から、「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるように、お彼岸のあたりからようやく暑い夏も終わり、秋らしい陽気となりました。青い空に浮かぶ白い雲がとても美しい季節です。「読書の秋」「食欲の秋」など、秋は何をするにも気持ちの良い季節です。皆さんは今年の秋をどんな風に過ごしたいと思いますか？

今年は第三吾嬬小学校の開校150周年の記念の年です。この秋には、150周年をお祝いする記念行事が盛りだくさんです。今月の25日土曜日には、「開校150周年記念運動会・さんあづスポーツフェスタ」が行われます。今年も楽しい運動会にしたいですね。

先日、5年生の女の子が、なぜ運動会で競い合うのをやめてしまったのですかと質問に来てくれました。第三吾嬬小学校は、今、ただの小学校ではなく「スーパー小学生」が活躍する、新しい学校に生まれ変わろうとしています。この新しい学校では、子供たち一人一人が自ら学び、考え、行動することのできる、主体的な児童が活躍する学校です。同時に、それは、思いやりをもち、共に生きることを目指すスーパー小学生の学校です。人と比べて、自分が良いとか悪いとか、強いとか弱いとか、そういう価値にとらわれるのではなく、一人一人に良いところがあり、その良いところをみんなが伸ばしあえる学校です。自分たちで考えて決めた目標に向かって、励まし合って、みんなが「自己ベスト」を目指す学校です。

確かに世の中には「競争」する場面もありますが、私たちの学校では人と比べる必要はありません。みんなが、自分の良いところを伸ばすことの方が大切だからです。本来、スポーツは、体を動かして楽しむ遊びです。適度な運動は、こころにも体にもよいものです。皆さんのが、生涯自分の体を動かして楽しむことができるようになることが、小学校の体育の一番大切な目標です。みんなで楽しい運動会にしましょう。

## 10月の課題は「ある日ある時」

秋らしくなってきたので、令和4年度に課題にした「紙風船」を書いた詩人・黒田三郎さんの詩を10月



の課題にしてみました。

皆さんは、季節によって空の見え方がちがうのに気がついていますか？ 自然の風景は、住んでいるところによってずいぶん違いますが、東京は高い建物が多く、私が以前勤めていた学校では空が小さく見えました。三吾小のまわりはあまり高い建物もないで、校庭から広く美しい空を見る事ができます。ぜひ、秋の空を見てみてください。